

大会運営マニュアル

(運営団体の任務)

1. 競技委員会へ出席し、承認を得たドロー及び大会要領を確認する。大会要領には、次のことを確認すること。
※日時、場所、試合方法、試合開始予定時間（初戦開始時間）、使用球、レフリー、注意事項、問い合わせ先
2. 大会当日の運営を統括する。
 - (1) 管理事務所で受け付けをし、使用許可を得る。
尚、コート予約手続き、使用許可手続き及びタイムスケジュールの提出は競技委員担当者が行う。
 - (2) ネット張り、スコアボード設置、運営場所設営等の事前準備を行う。
 - (3) 試合進行を管理する。
 - (4) 大会終了後の後片付け等を行う。同時にコート使用料を管理事務所に払い込む。
 - (5) 大会結果のマスコミへの報道は管理事務所に依頼し、事務局に報告する。
3. 以下の大会運営費を精算（費用の受取）する。
運営補助費 5,000円/日 コート使用料 実費
(カップは、年間で一括購入するので用意する必要はない)
但し、大会日程が長引いた場合、事務局に補助費を追加請求する。
4. 雨天により、大会日程の変更が行われる場合、競技委員会へ連絡する。但し、2ヶ月以上延期される場合は、再募集の案内を各団体へ連絡する。

(ドロー作成マニュアル)

1. ドロー作成の手順（個人戦及び団体戦）
 - (1) 参加者数（団体）が4、8、16、32、64または、それ以上の累乗の時、プレーヤーは全員1回戦から勝ち抜き方式で対戦する。
但し、参加者数（団体）が3名（3団体）以下の場合、リーグ戦の場合がある。
 - (2) 参加者数（団体）が2の累乗でない時は、1回戦の対戦相手の無いプレーヤー（団体）が出てくる。これをバイという。
バイの数は参加者数（団体）と次に多い2の累乗との差となり、1回戦で対戦するペアの数は参加者数（団体）と次に少ない2累乗の差となる。
 - (3) バイはシード順位の上位者から順番に与えられ、バイの数がシードより多い場合は、その位置をランキング上位者より決定する。その際、ドローの各セクションでバイの数が平均となるように振り分ける。
 - (4) ①個人戦のシード順位は、第①順位が前回同大会の優勝選手、第②順位が前回同大会の準優勝選手、第③順位以降はランキング上位選手から順番とする。
※ダブルスの場合はペア2名のポイントの合計点を参考に順位を設定する。
同ランキングの場合は、乱数を発生させ、多い順に上位とする。
②団体戦のシード順位は以下の通りとする。
※第1シード前年優勝チーム 第2シード前年準優勝チーム
その他の団体は、乱数の多い順に上位とする。
 - (5) 同一所属団体選手同士の初戦対戦は避ける。但し、A級大会は考慮しない。